

# 春季東北地区高校野球きょう開幕

## 青森県勢2校頂点目指す

工大一（青森第1代表）

八学光星（青森第2代表）

第70回春季東北地区高校「きたぎんボールパーク」（盛る。東北6県から14校が出場。青森県勢は、春季県大

会を制した第1代表の工大一と、準優勝だった第2代表の八学光星が、頂点を目指して東北の強豪と熱戦を繰り広げる。

工大一は、県大会決勝で強打の八学光星を撃破。バックなどの小技の効いた機動力が光った。投手陣は選

手がそよい、左腕の金淵光希、右腕の齋藤駿と白石秀登を軸に試合をつくる。昨夏の甲子園に出場した八学光星は、県大会の5試合で4本塁打48得点をマークするなど打線が好調。主砲の中澤恒貴が中心となり、得点を重ねてきた。失策はわずか1と守備も堅い。7日は2球場で1回戦6試合が行われる。八学光星



青森県勢2校の県大会チーム成績

高校	試合数	打数	安打	塁打			打率	得点	打点	四死球	犠打	盗塁	三振	失策	失点
				本	三	二									
工大一	5	155	56	2	4	11	.361	42	34	19	12	17	22	3	9
八学光星	5	164	55	4	5	10	.335	48	43	27	3	5	15	1	5

工大一・長谷川菊雄監督  
青森県大会のように、一戦一戦粘り強く戦う。守りが悪いと強豪校には勝てないので、ミスはできるだけないようにしたい。

工大一・長谷地耀主将  
青森県の第1代表として恥じないよう、一試合一試合集中して勝ち切りたい。ミスなく守ることで自分たちの流れに持っていきたい。

八学光星・仲井宗基監督  
レベルの高いチームと試合ができるのはありがたいこと。青森県大会で出た課題を修正し、夏につながる大会にしたい。

八学光星・中澤恒貴主将  
夏と同じような雰囲気でも戦わないと思っていない。東北の強豪校が相手でもしっかりと勝ち切り、優勝したい。

は午前9時から仙台一（宮城③）と、工大一は午前11時半から盛岡三（岩手③）とそれぞれ花巻球場で対戦する。（千葉 輝也）